



落語とテクノでこうなった！桂枝之進とレヲチバによる異色のリズム・ユニットMATSUBAのデビュー1st EP「Hottan」がリリース！

落語家の語調を音楽的に捉え、テクノの電子音と掛け合わせたリズム・ユニットMATSUBAの鮮烈なデビューを飾る1st EP「Hottan」が各種配信サービスにて配信開始。



MATSUBA「Hottan」楽曲リンクはこちら

<https://linkco.re/u2mxSuRC>



落語家・桂枝之進とコンピューターミュージシャン・レヲチバによって結成されたMATSUBA

MATSUBAは、関西の伝統芸能である上方落語の噺家、桂枝之進と、世界各地の地下テクノシーンで活躍するコンピューターミュージシャン、レヲチバによるリズム・ユニット。

プライベートで交友のあった二人が落語や電子音楽のリズムの違い、面白さに着目。

和製リズム・ユニットMATSUBAの構想が始まりました。

その後半年に及ぶ制作期間を経て、1st EP「Hottan」が完成。

落語に受け継がれる語感・リズムと、テクノの電子的にコントロールされたリズムを調和させる、唯一無二の楽曲制作方法をとった実験作です。

全体のアートワークにはデザイナー・岡本太玖斗が参加し、日本文化のコンテキストとテクノの無機質で機械的なデザインを生かした多岐に渡るビジュアル展開をしています。

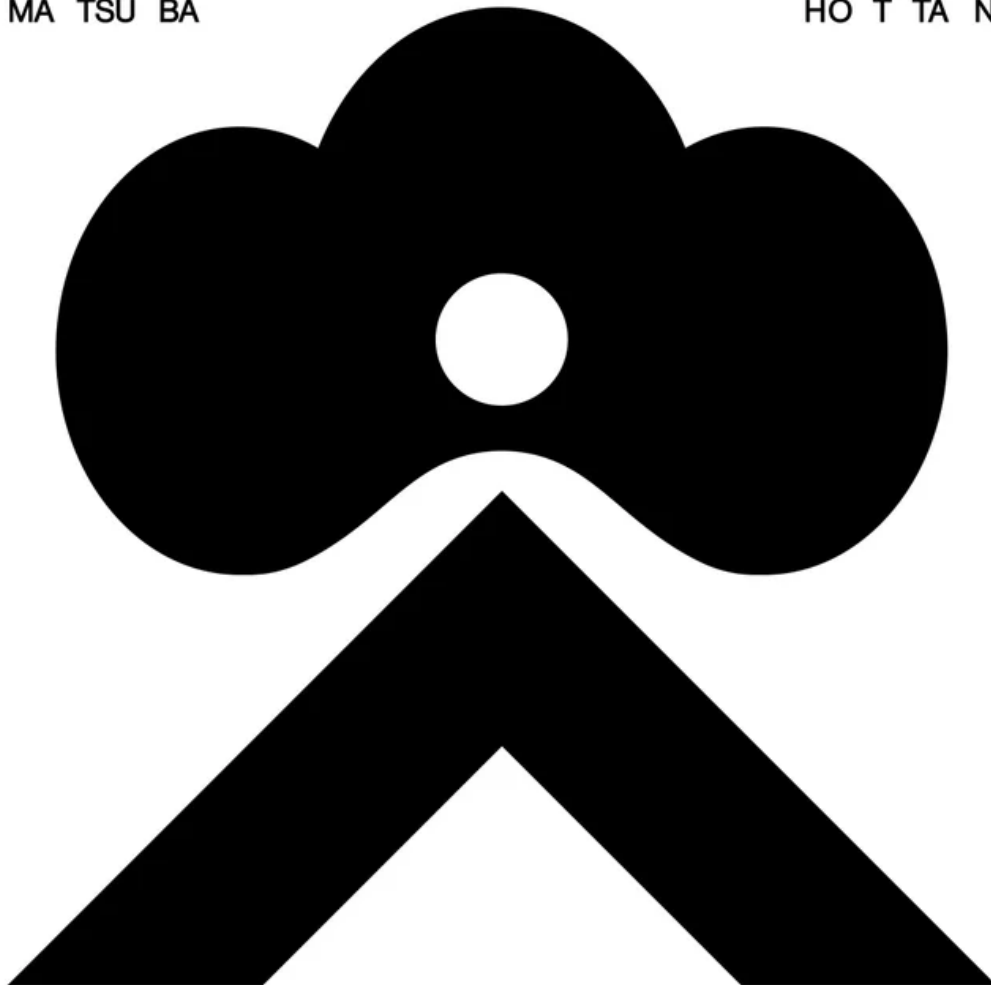
MATSUBA公式Instagramがオープン

歌詞や和太鼓の楽譜をグラフィックデザイン化したショート動画など、様々なコンテンツを発信中です。

<https://www.instagram.com/matsubarhythm/>

MA TSU BA

HO T TA N



デビュー1st EP「Hottan」が配信スタート！

落語家の語調を音楽的に捉え、テクノの電子音と掛け合わせたリズム・ユニットMATSUBAの鮮烈なデビューを飾る1st EP「Hottan」。

関西の伝統芸能・上方落語で初舞台に向けて習う演目「東の旅・発端」は、お伊勢参りの旅に出る道中を軽快なリズムに乗せて語る必修科目として現代まで受け継がれています。

1st EP「Hottan」は、そんな古典落語固有のリズムから始まり、現代へ続く大衆娯楽の変遷をテーマに落語家・桂枝之進とコンピューターミュージシャン・レヲチバがジャンルを飛び越えた新しいリズムを探求する意欲作となっています。（全6曲を収録。）

MATSUBAコメント

「この度、我々のデビュー作となるEP『Hottan』がリリースされました。

日本の伝統文化が持つゆらぎやリズムと電子音楽・テクノミュージックを融合させるのは至難の業でした。しかし、落語家とコンピューターミュージシャン、それぞれの味を活かし、全く新しい音楽ジャンルの発端を生み出せたと思っています。

今後は海外も視野に入れて活動を展開していきたいです。皆さま応援よろしく願いいたします！」



桂枝之進 プロフィール

2001年生まれ。

2017年1月 六代文枝一門三代目桂枝三郎に入門。

全国の寄席やイベント、メディア等で活動するほか、2020年、落語のミクスチャーを実践するコレクティブ「Z落語」を立ち上げ、落語とクラブカルチャーをMIXしたイベントやAIによる新作落語の創作プロジェクトなど、他ジャンルのクリエイターと越境的に活動を展開している。

Instagram: <https://www.instagram.com/edanoshin/>



レヲチバプロフィール

1999年生まれ。

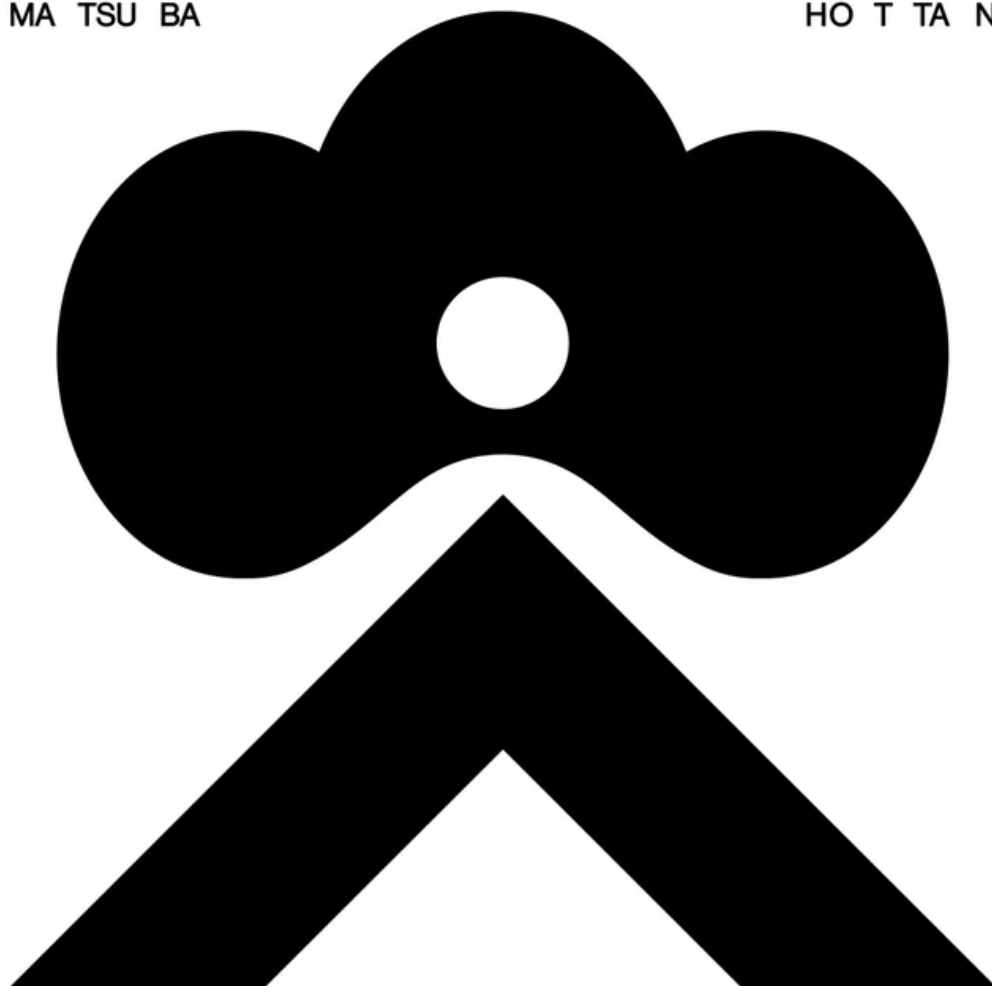
ハードウェアシンセサイザーを用いた素朴で感性的な楽曲・ライブを軸としている。主に東京と京都の2カ所で活動しているが、DJとしてドイツ・フランクフルト、フランス・リヨン、ベルギー・ブリュッセルなど、世界中の地下テクノシーンで公演を行う。

ARKUDA LABEL主宰。

Instagram: <https://www.instagram.com/lewochybamusic/>

MA TSU BA

HO T TA N



MATSUBA 「Hottan」 クレジット

作詞：桂枝之進

作曲：レヲチバ

美術：岡本太玖斗

協力：WCPスタジオ、Studio 246 KYOTO

楽曲リンクはこちら

<https://linkco.re/u2mxSuRC>
